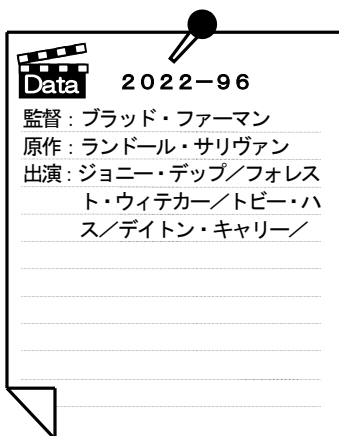




👁️👁️ みどころ

日本でも未解決の殺人事件は多いが、アメリカ L.A. で 1996 年と 97 年に起きた、黒人のヒップホップ界 2 大スター暗殺事件もそれ。もっとも、ケネディ暗殺事件は有名だが、今それを『L.A. コールドケース』と題して映画化する狙いは？

本作はジョニー・デップ（刑事）とフォレスト・ウィテカー（記者）の 2 大俳優の共演がミソ！あの時、あの事件が未解決のまま葬り去られたのは一体なぜ？そして 18 年後の今、なぜそれを蒸し返すことに・・・？

2 人の重厚な演技もあって、そんなクライム・サスペンスは興味深いが、何しろ難しいのが玉にキズ。こりゃ、よほど腰を据えて鑑賞しなければ・・・。

—— * —— * —— * —— * —— * —— * —— * —— * —— * ——

■□■ L.A. はロサンゼルス！コールドケースとは？ ■□■

『パイレーツ・オブ・カリビアン』シリーズ（『シネマ 3』101 頁、『シネマ 11』20 頁、『シネマ 15』14 頁、『シネマ 42』未掲載）や、近時の『MINAMATA ミナマタ』（20 年）（『シネマ 49』36 頁）等で、今やハリウッドを代表するスターの 1 人になっているジョニー・デップと、『ラストキング・オブ・スコットランド』（06 年）（『シネマ 14』106 頁）でのウガンダの元大統領役が強く印象に残ったフォレスト・ウィテカーの二枚看板が初共演だから、こりゃ必見！ところで、L.A. はロサンゼルスのことだが、「コールドケース」とは一体ナニ？

本作のチラシには「すべてのはじまりは、HIPHOP 界 2 大スター暗殺事件だった——」「《巨大な闇》に元刑事と記者が挑む、圧巻のクライム・サスペンス」それは、「誰も望まない《真実》」等の見出しが躍っているが、それって一体ナニ？

■□■ 米国史上最も悪名高い（ノトーリアス）未解決事件とは？ ■□■

1963年11月22日に起きたケネディ大統領の暗殺事件は誰でも知っているが、1996年と1997年にアメリカを騒然とさせたヒップホップ界の2大スター暗殺事件とは一体ナニ？それは、アメリカ史上最も「悪名高い（ノトリアス）」未解決事件と言われているそうだが、そう言われても、それを知っている日本人はいないはずだ。そのうえ、同事件は現在に至るまで犯人が特定されていないそうだ。

なぜ、そんな事件が今、映画化されたのかはわからないが、“ハリウッドを代表する2大俳優が激突するクライム・サスペンス”と言われれば、こりゃ必見！

■西人気レーベル同士の争いが殺人事件に！？■

本作冒頭、私には全然馴染みのないHIPHOP音楽が流れ、1990年代の人気ラッパーたちが次々と登場。そんな中、1996年と97年に相次いで黒人気ラッパーが殺されたから、さあ大変。その1人は、東海岸を代表するレーベル“バッド・ボーイ・レコード”に属するノトリアス・B.I.G.。もう1人は西海岸を代表するレーベル“デス・ロウ・レコード”に属する2パック。すると、これは両人が所属するレコード会社同士の争い！？

その事件を担当したのはロサンゼルス市警。そして、その責任者が、ラッセル・プール（ジョニー・デップ）だったらいい。しかし、本作はその時の捜査を描くものではなく、それから15年後のお話だ。

■この事件には警官の関与が！その捜査を誰が？■

2人の有名ラッパー暗殺事件は、世上で言われるようなレコード会社同士の争いではない！その後頻発した殺人事件や麻薬絡みの事件を含め、それらはすべてL.A.市警の警官たちの犯罪！つまり、有名な黒人ラッパーを抱えて大儲けしている東西のレコード会社は、日本のヤクザが警官を用心棒として抱き込むのと同じように、L.A.市警の警官を用心棒として雇い入れている！熱意あふれる捜査の結果、プールはそう考え始めたが、その捜査するのはL.A.市警だから、そりゃ大変。プールが指揮する捜査には、さまざまな妨害の手が・・・。

それが身の危険にまで迫る中、プールは退職を余儀なくされたが、彼は今も孤独な調査を続けているらしい。そんなプールを訪ねてきたのは、当時この事件を報じて“ピーボディ賞”を受賞したことのある記者、ジャック・ジャクソン（フォレスト・ウィテカー）。来訪の目的は、過去を回顧する特集記事取材のためだが、今更そんな事件を“回顧”してどうなるの？

■一匹狼同士の執念と互いのリスペクトに注目！■

本作についてはそんな根本的疑問があるが、当然ながら、初対面でプールはジャクソンの取材をきっぱりと拒否！しかし、お互いにプライドの高い一匹狼であることを嗅ぎとった2人は、その後、互いにリスペクトを抱きつつ、18年前の真実に少しずつ迫っていくことに……。それはそれでいいのだが、本作についてはとにかく事実関係がややこしす

ぎて難しいのが玉にキズ。これでは日本人にはとても理解は無理・・・？

そう思ったが、もちろんパンフレットを読めば、ヒップホップ界の2大スター暗殺事件の真相に迫るさまざまなネタが紹介されている。また、情報社会の今、ネット上でも今更ながら(?)、ヒップホップ界の2大スター暗殺事件についてのさまざまな情報や意見が飛び交っているので、興味のある人には、是非それらを参照してもらいたい。そうすれば、本作の理解度が格段にアップすることは確実だが・・・。

2022（令和4）年8月15日記